



ROCK PAINT

108 ライン

ビニロック®ウレタン

水性一液架橋型ウレタン樹脂塗料

人と環境にやさしく
建物を強靱にガードする
新時代の水性塗料

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

非トルエン・キシレン塗料

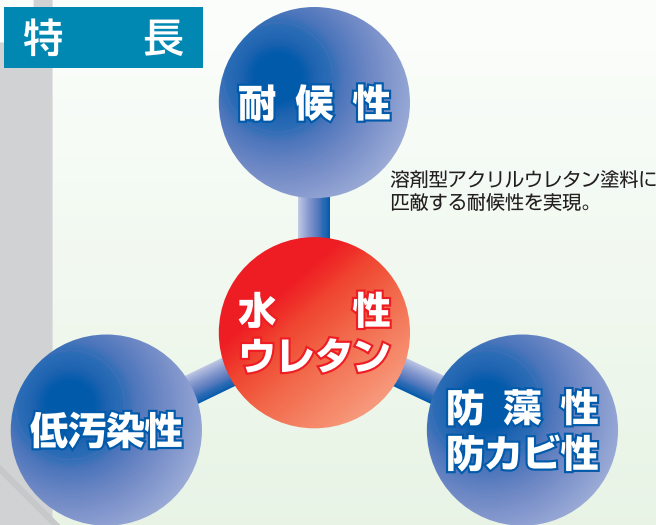
(一社)日本塗料工業会 室内環境
対策のVOC自主表示ガイドライン～
「非トルエン・キシレン塗料」～に適合

ロックペイント

日本の人口・世帯数が、
今後減少してゆくと予測される中、
住宅ストック量はすでに満たされた状況にあり、
住宅に対する考え方が見直されてきています。
とりわけ太陽光や風雨など、
様々な状況にさらされ続ける建築物は、
長寿命化へ欠かすことができなくなっています。

ビニロックウレタンは水性塗料でありながら、
溶剤型アクリルウレタン塗料に匹敵する耐久性を持ち、
環境配慮に適応した、水性塗料の新時代を築く製品です。

特長



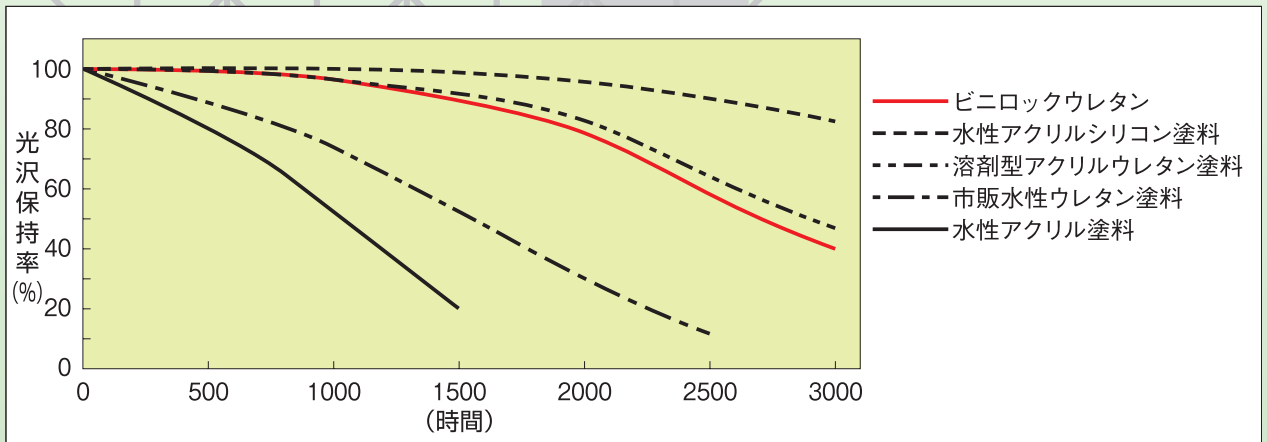
溶剤型アクリルウレタン塗料に匹敵する耐候性を実現。

ばい煙や塵などの汚れが付きにくい緻密な塗膜を形成します。

藻やカビの発生を防止し、清潔な住環境を維持します。

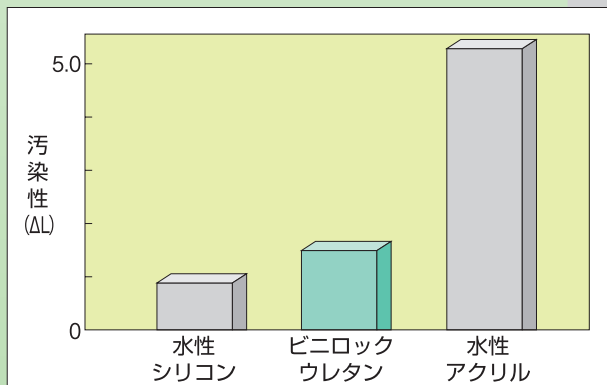
耐候性

サンシャインウェザーメーターによる促進耐候性



汚染性

● カーボン系汚れによる汚染性



※試験前と後の明度変化(ΔL)を測定。明度変化が小さいほど汚れの程度が少ない。

● 耐雨筋汚染曝露比較試験



防藻・防カビ性

(判定) ー：試料面に生育が全く認められない
 ±：試料面に生育がごくわずか認められる
 +：試料面の1/3以下に生育が認められる
 ++：試料面の2/3以下に生育が認められる
 +++：試料面の2/3以上に生育が認められる

JIS Z 2911の試験方法を参考とした藻・カビ抵抗試験

①〈藻抵抗試験〉〔藻抵抗試験は蛍光灯を照射〕

	ブランク	1週間後	2週間後	3週間後	4週間後
ビニロックウレタン	ー	ー	ー	ー	ー
市販水性ツヤ有り	ー	±	±	+	+++

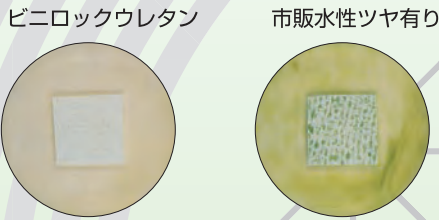
(試験菌)クラミドモナス、オーグレナグラシリス、クロレラ

②〈カビ抵抗試験〉

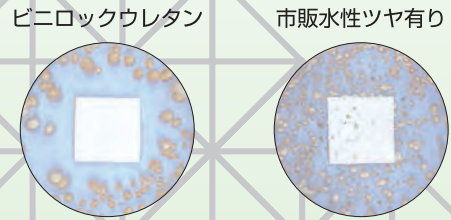
	ブランク	1週間後	2週間後	3週間後	4週間後
ビニロックウレタン	ー	ー	ー	ー	ー
市販水性ツヤ有り	ー	±	±	+	+++

(試験菌)アスペルギルス、ペニシリウム、クラドスポリウム
 グリオクラジウム、オーレオバシジウム

藻抵抗試験結果(4週間後)



カビ抵抗試験結果(4週間後)



用途

- 戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築内外壁面の上塗り
- 各種旧塗膜、可とう形改修塗材など塗り替え用上塗り
- 屋内外鉄部、硬質塩ビ(雨樋など)

使用方法

- 希釈割合(重量比)
 水で希釈してください。希釈割合は次の通りです。
 ハケ、ローラーの場合：5～10%
 エアレス塗装の場合：10～20%
- 乾燥時間
 気温、湿度、膜厚、素地の状態などにより異なりますが、塗り重ね可能時間はおよそ次の通りです。

温度	10℃	23℃	30℃
乾燥時間	3時間	2時間	1時間

- 標準塗付量
 0.11～0.13kg/m²・回(ハケ、ローラー塗装の場合)
- クリヤー分が浮いている場合がありますので、使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜて、均一な状態にしてください。
- 上塗り調色にはロックトーンカララント7000(ベースの7%以内、カララントシステム用のウィークホワイトはベースの20%以内、ニュートラルベースはベースの10%以上20%以内)を使用してください。

性能 (ビニロックウレタン グロスホワイト)

JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイントを参考に実施

項目	規格	標準性状
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。	合格
低温安定性(-5℃)	変質しないこと。	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障がないこと。	合格
乾燥時間 (標準状態) (5℃)	2時間以内	合格
	4時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること。	合格
隠ぺい率	95%以上	合格
鏡面光沢度(60度)	70以上	合格
耐水性	23℃水に96時間浸したとき光沢保持率80%以上で、塗面に異常がないこと。	合格
耐アルカリ性	23℃飽和水酸化カルシウム溶液に168時間浸したとき光沢保持率65%以上で、塗面に異常がないこと。	合格
耐洗浄性	1000回の洗浄に耐えること	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えること。	合格
促進耐候性	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級が1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないこと。	合格
耐候性	12か月の試験で白亜化の等級は2、1又は0で、割れ、はがれ、膨れ、穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないこと。	合格

標準塗装仕様

◆ 新設：コンクリート・モルタル・スレート板など(平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイトンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
(注1) 下塗り	ロックカチオンシーラーマルチⅢ (注2)	(水)	ハケ、ローラー： エアレス：0% (通常不要)	1	0.07～0.13	3時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス：5～10% 10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

◆ 新設：鉄部[オール水性仕上げ](平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	足場及び飛散防止シート(必要に応じ防音シート)を仮設し電動工具を主体として手工具を併用し、サビを完全に除去してください。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、またはSIS St3。じんあい、水分、油脂分は完全に除去し、塗装しない箇所のマスキングをしてください。					
下塗り	水性サビカット (注3) 配合比 主剤：硬化剤＝7：1	水	ハケ、ローラー： エアレス：0～5% 5～10%	1	0.12～0.15	8時間以上 7日以内
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス：5～10% 10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

◆ 塗り替え：外装材の塗り替え(シーラーを使用・コンクリート系下地)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
(注1) 下塗り	ロックカチオンシーラーマルチⅢ (注2)	(水)	ハケ、ローラー： エアレス：0% (通常不要)	1	0.07～0.13	3時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス：5～10% 10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

◆ 塗り替え：外装材の塗り替え(窯業系サイディングボードなど)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
(注4) 下塗り	ロックSBフィラー	水	ハケ： ローラー：1～5% 1～5%	1	0.2～0.4	3時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス：5～10% 10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

◆ 塗り替え：硬質塩ビ(雨どいなど、平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。塗装する面にサンドペーパーP240～P400で研磨による足付けを行う。					
下塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス：5～10% 10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス：5～10% 10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上

注1 下塗りにロックカチオンシーラーマルチ ホワイトを使用することもできます。

注2 ロックカチオンシーラーマルチⅢはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。

注3 水性サビカットは赤サビ色、グレーの2色あります。

注4 下塗りには可とう形改修塗材EのビニロックエラストックフィラーⅢなどもあります。

ビニロックエラストックフィラーⅢは塗装用具にローラー、エアレス、砂骨ローラー、リシンガン、タイルガンが使用できますが、吹付け塗装する場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りをを行い、条件を設定してから塗装してください。

※ 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

施工上の要点・注意事項

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用して、あらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素塗料への塗替えには使用できません。
- 改修塗装の場合、素地の種類によっては、塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ユメロックシーラーまたはハイパーシーラーエポを下塗りとして使用してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポを下塗りに使用してください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをし、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにむらが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- 作業能率の低下及び塗りむらの原因になるため、スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くと落ちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗りし、上塗り塗装を実施してください。
- この仕様書は全ての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗色が濃彩色の場合、塗膜を強くすると色落ちしたり、さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- 建物の形状や施工部位、周辺環境などの影響により、低汚染性が十分に発揮できない場合があります。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- 水性サビカット(2液型)は主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し、可使時間内(7時間[23℃]、4時間[30℃])に使用してください。
- 水性サビカット硬化剤は、アミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアタクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ドアバックヤや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。



【品種と容量】

色名	容量
グロスホワイト	15kg -
ホワイトベース	15kg -
ウィークホワイト	15kg -
ニュートラルベース	15kg -
調色品	15kg 3kg

【関連下塗・中塗塗料】

品名	容量
ロックカチオンシーラーマルチⅢ	15kg
ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg
ロックSBフィラー	15kg
ユメロックシーラー 主剤(透明)	12.5kg
ユメロックシーラー ホワイト 主剤	12.5kg
ユメロックシーラー 硬化剤	2.5kg
ハイパーシーラーエポ 主剤(透明)	12.5kg
ハイパーシーラーエポ 硬化剤	2.5kg
ビニロックエラストックフィラーⅢ	16kg
水性サビカット 赤サビ色	14kg
水性サビカット グレー	14kg
水性サビカット 硬化剤	2kg

- ホワイトベース、ウィークホワイト、ニュートラルベースはロックカララントシステム(店頭調色)用です。

❗ 安全・衛生及び取扱い上の注意

【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業衣などに付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照ください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目3番2号 ☎(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
 大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
 札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX(011)812-9304
 仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX(022)283-3255
 西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX(042)700-3112
 名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX(052)361-7433
 岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX(086)294-6966
 福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX(092)963-1241
 ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
 また記載の内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：